



自由民主党岩手県支部連合会 新役員体制 令和元年11月24日より

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| 会 長 | 藤 原 崇 | (衆議院議員) |
| 会長代理 | 千 葉 伝 | (県議会議員) |
| 副 会 長 | 高 橋 ひなこ | (衆議院議員) |
| 幹 事 長 | 岩 崎 友一 | (県議会議員) |
| 総務会長 | 川 村 伸浩 | (県議会議員) |
| 政務調査会長 | 佐々木 茂光 | (県議会議員) |
| 幹事長代理 | 城 内 よしこ | (県議会議員) |
| 総務会長代理 | 神 崎 浩之 | (県議会議員) |
| 政務調査会長代理 | 白 澤 勉 | (県議会議員) |
| 組織運動本部長 | 高 橋 穂至 | (県議会議員) |
| 広報委員長 | 佐々木 宣和 | (県議会議員) |
| 財務委員長 | 武 田 哲 | (県議会議員) |
| 副幹事長 | 米 内 紘正 | (県議会議員) |
| 副幹事長 | 高 橋 こうすけ | (県議会議員) |
| | | |
| ※執行役員以外の追加役員 | | |
| 顧 問 | 鈴 木 俊一 | (衆議院議員) |
| 顧 問 | 平 野 達男 | (前参議院議員) |
| 相 談 役 | 柳 村 岩見 | (前県議会議員) |

この度、岩手県連合会に就任しました、藤原崇です。どうぞよろしくお願いたします。

岩手県では現在、東日本大震災をはじめとした各種災害からの復興、ILC誘致の推進、人口減少社会への対応など、山積する課題への対応が求められており、政治が果たす役割は非常に重要です。岩手県連では、その様な状況下において、県民の皆様の生活向上を第一に考え取り組みます。近年は、政党の離合集散が相次いでおりますが、政党に求められる役割は、選挙に勝つことでも党勢を拡大することでもなく、県民、そして国民の皆様の為に働くことである、という基本を忘れずに取り組んでまいります。

そしてもう一つの重要な取り組みは、岩手県連の取り組みについて正確に発信をしていくことです。岩手県連が、何を考えどの様な取り組みを行っているかについて、広く皆様のご理解を得ると同時に、皆様の考え方も広く取り入れてまいります。このことにより自然と県民の皆様からの信頼も集まると考えます。

自民党岩手県連への支持は積極的に集めていくのではなく、日々の活動を通して、自ずと集まるようにしなければなりません。その考え方の下、県連を運営して参りますので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。



会長就任ごあいさつ
自由民主党岩手県支部連合会
会長 藤原 崇



年頭のごあいさつ
自由民主党岩手県支部連合会
幹事長 岩崎 友一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は大型選挙イヤーであり、党员・党友の皆様方には多大なるご支援を賜りましたことに改めて心から感謝を申し上げます。

全ての選挙において、非常に悔しい結果となってしまいましたが、反省を活かし、悔しさをバネにし、次期衆議院議員選挙をはじめ、先々の選挙を見据え、足腰の強い組織の構築に向けて一から進めてまいります。皆様方のご理解と更なるご協力をお願い申し上げます。

平成二十三年の東日本大震災津波、平成二十八年台風第10号災害、令和元年台風第19号災害からの復興は本県の最優先課題であります。また、ILC国際リニアコライダーの誘致実現にあたっては正念場を迎えています。

地方創生は今年四月から第2ステージに入ります。地方が活力を取り戻すことにより、日本全体を元気にしていくという地方創生の本旨に基づいて県民一人ひとりが実感を得られるよう、皆さんの声をしっかりと聞き、国・県の政策に反映すべく提案・提言活動に注力してまいります。

令和新時代は人口減少・少子高齢社会への挑戦の時代であります。AI（人工知能）、ロボットの活用や生産性の向上などを通じ、県民ニーズの高い医療・介護体制の充実や本県の強みである一次産業の振興、地域公共交通の在り方をはじめ、令和の時代にふさわしい地域づくりを皆さんとともに進めていきたいと思っております。

今年も県連一丸となって、本県の課題の解決と発展に向けて取り組んでまいりますので皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

今後の岩手県連主催主要行事日程

政経懇談会

日時 令和2年2月9日(日) 午後一時三十分
場所 盛岡グランドホテル
ご来賓(予定) 岸田文雄政務調査会長、江藤拓農林水産大臣

県連大会

日時 令和2年3月29日(日) 午後一時三十分
場所 アートホテル盛岡(旧ホテル東日本)